

世界の食の台所を目指して

水産物・青果物卸売場

衛生面や温度管理に配慮された施設で、県内をはじめ全国各地から集められた新鮮な水産物・青果物などを扱います。

高機能物流施設

農水産物の加工や海外への輸出に必要な検査・通関などの手続きを1カ所で行える「ワンストップ輸出機能」を備えた日本初の物流拠点です。

青果物卸売場

高機能物流施設

水産物卸売場

集客施設棟

関連棟

関連棟

加工食品や調味料、包装容器など小売店や飲食店が必要とする多数の商品を扱います。

新市場の完成予想図



開場した頃の成田市場(昭和50年)

産地と食卓をつなぐ
拠点として

現在の成田市場は昭和49年に飯仲地区に開場しました。総面積は

40年以上前から私たちの食卓を支え続けている成田市場。この市場が、商品の集荷から輸出手続きまでを一貫して行うことができる日本初の卸売市場として生まれ変わります。今号では、令和3年夏に開場予定の新市場について紹介します。

約6ヘクタールで、場内には水産棟・青果棟・関連食品棟の3つの売り場があり、40年以上にわたって北総地域の流通拠点としての役割を担ってきました。

しかし、施設の老朽化や取扱高の減少など、さまざまな課題を抱えています。そのため、市では成田市場の移転・再整備を進めることとなりました。

生まれ変わる成田市場

新市場は成田空港に隣接する天神峰地区に開場予定です。市場から空港の入り口までの距離は約3キロメートルとなり、現在整備が進められている圏央道や東関東自動車道のインターチェンジからも近く、物流に最適な立地に建設されます。

総面積は約9・3ヘクタールで

現在の成田市場と同じく水産物・青果物を扱う卸売場、加工食品などを扱う関連棟のほか、新たに高機能物流施設や集客施設棟などが整備されます。

水産物・青果物卸売場や高機能物流施設を含む本体棟は、従来の開放型施設から衛生管理が徹底された閉鎖型施設になります。これにより、国際的な衛生基準であるHACCP(ハサップ)に対応した先進的な施設となる予定です。

また、水産物卸売場には施設全体に低温管理機能が施され、天候や気温に左右されることなく、商品をより新鮮な状態に保つことができるようになります。

高機能物流施設

高機能物流施設は水産物・青果物卸売場に隣接し、市場で集荷した農水産物の加工や海外への輸出



本体棟の完成イメージ

インタビュー



大都魚類株式会社
成田支社長
廣野 安弘さん

新鮮な食材をお届けします

私たちは水産物部の卸売業者として、全国の水産物を成田市場へ集荷する役割を担っています。新市場では新たな取り組みとして、生きたままの魚介類を保存できる活魚水槽を設ける予定です。これにより、今まで以上に新鮮な水産物を国内外へ提供できるようになります。場内の飲食店でも扱う予定ですので、皆さんにも安全・安心で新鮮な市場の食材を味わっていただきたいです。

手続きを一カ所で行えるようにした日本初の物流拠点です。施設内には、国内外で需要が高まっているカット野菜などの加工を行う「加工エリア」や、海外へ輸出するために必要な各種証明書の受け取り・植物検疫・爆発物検査・通関といった手続きを行うことができる「ワンストップ輸出エリア」などが整備されます。

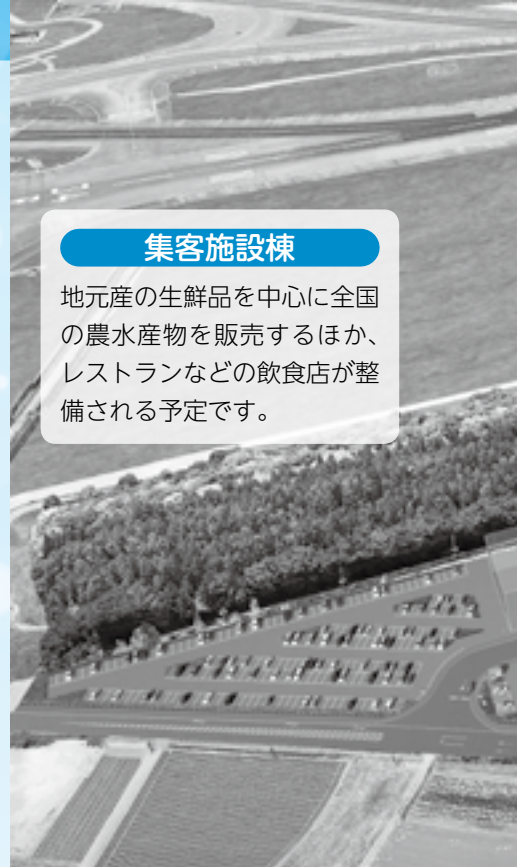
市内には、さくらの山や十余三東雲の丘、三里塚さくらの丘のように、飛行機の離着陸を間近に眺めることができる施設があり、人気となっています。新市場においても、空港に隣接

展望デッキ

成田に訪れる多くの外国人観光客に日本の「食」を楽しんでもらい、日本の食文化を世界に発信する拠点となります。

集客施設棟

地元産の生鮮品を中心に全国の農水産物を販売するほか、レストランなどの飲食店が整備される予定です。



集客施設棟

集客施設棟は市民や国内外の観光客向けに開放された施設で、自由に出入りすることができます。市場から卸された新鮮な食材を使ったレストランなどの飲食店が整備されるほか、地元の食材を中心に全国各地の農水産物の販売も行われる予定です。

新市場の開場へ向けて

市では、新市場の開場に向けて海外への輸出の取り組みを進めています。昨年の4月にはイギリスへの青果物の輸出が始まり、成田市産の野菜を含むさまざまな商品がロンドンのスーパーマーケットで販売されています。そのほかにも、アメリカでの試験販売やドイツでの青果物展示会への出展、フランスのランジス市場の調査など、日本の食材を世界に発信するため、国内外でプロモーション事業を行っています。そのほか、市場の移転再整備に関する情報は、市ホームページ<https://www.city.naria.chiba.jp/business/page168200.html>で随時更新していきます。また、新市場に商品を出荷したいと考えている生産者や、商品を調達したいと考えている事業者からの問い合わせも受け付けています。

※くわしくは卸売市場(023・0021)へ。

新市場をもっと身近に

新市場の魅力を分かりやすく紹介する「輸出拠点化プロジェクトPR動画」を動画配信サイト「YouTube」で配信しています。

URL

- 日本語版
<https://youtu.be/qAyRJYESDX0>
- 英語版
<https://youtu.be/Fac7lrJwBqU>

二次元バーコード



日本語版



英語版

